

わたしのまちの宝もの ながはま百景

このコーナーでは、
「ながはま百景」に選ばれた景観を毎月紹介します。



牡丹の寺 総持寺

(所在地) 宮司町

総持寺は奈良時代、行基により開山されたと伝わる古刹です。江戸時代に建てられたとされる仁王門の左右には、迫力ある金剛力士像が配され、にらみをきかせています。仁王門をくぐり石畳を進むと、境内の奥に本堂が見えます。そこには本尊の薬師如来像をはじめ、重要文化財の聖観音像など、多くの仏像が祀られています。

また、県内随一の牡丹の寺としても名高く、境内一面に植えられた牡丹は約80種類、一千株にもなり、毎年4月下旬から5月上旬に見頃を迎えます。

心地よい陽ざしを受け、鮮やかに咲く牡丹の花々が歴史ある寺院に彩を添えています。

※庭園・仏像の拝観には予約が必要です。
問 都市計画課 (☎65-6562)



4月6日(土) 観音さまに見守られ

厳しい冬を越え、春の訪れを喜ぶ祭りとして15年ほど前から開かれている「観音の里春まつり」。会場となった向源寺(高月町渡岸寺)境内には、商工会や各種団体による模擬店が軒を連ね、多くの市民でにぎわいました。

新小学1年生の学業成就や交通安全を祈願して行われる「福もちまき」にはおよそ100人が参加し、可愛らしいハッピー姿で子どもたちが元気よく餅をまきました。



4月7日(日) 人・地域をつなぐ清らかな音色

虎高・虎中の吹奏学部連携による「虎姫コンサート」が、虎姫文化ホールで開催されました。

「地域のために何かしたい」「音楽にあふれたまちづくりができれば…」という生徒たちの思いがきっかけで始まり、今回で2回目。お馴染みの曲が生徒たちの思いをのせて奏でられ、会場は喜びと感動で包まれました。

ながはま 見聞録

Nagahama Hotnews

このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介します。あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報室(☎65-6504)までお知らせください。市公式Facebookページではさらに詳しくみることができます。

<https://www.facebook.com/nagahama.hotnews>

「長浜 ほっとにゅーす」 検索



4月1日(月) 暮らしの安心を乗せて

食料品や日用品を購入できる店舗がなく、買い物に困っている人たちを手助けしようと走り出した「移動コンビニin余呉」。

野菜やパン、調味料など130品目を載せ、19の集落を月2回ずつ巡回します。

地域の人たちは「かさばる物も気軽に買えてありがたい」と移動コンビニを大歓迎。

「地域の皆さんの買い物の不便を解消するだけでなく、ふれあいを大事にしたい」と担当者は意気込みを語りました。

4月1日(月) 地域に愛され親しまれる存在に

旧伊香郡内の4町商工会が合併し、新たに「長浜北商工会」として発足しました。

高月町商工会館で行われた開所式であいさつに立った西村豊和会長は、「50年、100年先につながる商工会を築いていきたい」と力強く抱負を述べました。



4月4日(木) 滋賀・湖北の魅力を発信!

万城目学さんの最新ベストセラー小説「偉大なる、しゅららぼん」の映画化が決定し、彦根城博物館で、クランクイン会見が開かれました。

琵琶湖畔を舞台に展開されるこの映画は、全編滋賀県でのロケが予定されており、主演の濱田岳さんと岡田将生さん、水落豊監督が、撮影に向けての意気込みや、滋賀県を訪れた感想を語りました。

4月5日(金) モミジで地元を盛り上げよう

「誰もが住み続けたい、安らぎと潤いのあるまちづくり」をめざして活動している「余呉地域づくり協議会」が、菅並地区にある「妙理の里」でヤマモミジの植栽を行いました。

晴天に恵まれたこの日、メンバー19人が約2メートルの苗木50本を植えました。この取組みは今後も続けられる予定で、同協議会は「地元の景観美化にも貢献したい」としています。

